

光星センバツ出場有力

秋季東北高校野球 決勝に進出

第71回秋季東北地区高校野球大会第4日は17日、秋田市のこまちスタジアムで準決勝を行い、青森第1代

表の八学光星が、花巻東(岩手第2)を7-3で下し、決勝に進出した。来年3月23日に甲子園球場で開



【八学光星―花巻東】3回八学光星1死満塁、近藤遼一の左前適時打で3-0とする。17日、秋田市こまちスタジアム

幕する第91回センバツ高校野球大会は東北地区から2校が選ばれることになっており、今大会で上位2校に入った光星は3年ぶり10度目のセンバツ出場が有力となった。

【1ページに詳報】

光星は三回、先頭の太山皓仁が右越えに本塁打を放って先制。その後も3者連続安打などでこの回計5得点を挙げ、試合の主導権を握った。終盤は主戦後藤丈海を中心に、粘り強い守りで花巻東の反撃を振り切った。

光星は大会最終日の18日、5年ぶり5度目の頂点を懸けて、同球場で岩手第1代表の盛岡大付と対戦する。

(文・里村静、写真・井深裕介)